

体験！ 模擬授業

栄養学科

①・② 2号館 3F 239 教室

①「管理栄養士の役割と学び」

教授 久保田 のぞみ

管理栄養士は病院、福祉施設、学校、市町村などいろいろな場所で仕事をしていますが、共通する役割は栄養管理です。この模擬授業では、栄養学科で学ぶ栄養管理の一部を紹介します。栄養管理に欠かせない知識には、生活していくなかで得られもの、意識して得ていく必要があるものも少なくありません。いますぐにできる学びについて、国家試験問題を使いながら紹介します。

②「公衆栄養学について」

講師 近江 孝典

公衆栄養学については、一般的になじみのない分野ですが、公衆衛生分野の中での公衆栄養学の概念や役割について、また、公衆栄養活動は栄養・食生活の改善を基本とする健康づくりのための実践活動であり、人間集団を対象として疾病の一次予防を主目的とする学問であること。

地域住民への公衆栄養活動は、管理栄養士・栄養士により保健所・市町村保健センターを中心に多職種と連携し、地域住民が自分たちの望ましい食・栄養状態を維持するための支援等についての紹介を行い、公衆栄養学分野での管理栄養士・栄養士の活動の興味につなげることを目的とする授業とする。

看護学科

① 3号館 2F 322 教室 ② 5号館 小児母性看護実習室

①「加齢に伴う感覚器の変化～高齢者の見え方体験をしてみよう！～」

教授 高橋 智美

人間の五感（視覚：見ること、聴覚：聞くこと、触覚：触れること、嗅覚：臭いを感じる、味覚：味を感じる）は老化により変化します。そこで老化とはどのようなことか、加齢との違いは何かを説明します。また高齢者の五感が老化により、どのような理由でどのように変化しているのかを説明します。その上で皆様には高齢者の五感の中でも視覚に焦点を当てた高齢者感覚器体験をしていただきます。

②「「ねえ、もしもね・・・。」ということを考えてみよう」

准教授 高儀 郁美

人生は自然に起こる変化の連続である。「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」とは、あなたが大切にしたいこと、望んでいる生き方、そして「もしものとき」にどのような医療やケアを望むかについて、前もって考え、話し合っておくことです。もしものとき、あなたは、家族や自分自身にどのような医療やケアを望むのか？みんなと一緒に考えてみよう。

社会福祉学科

2号館 2F 222 教室

「こころの病気や災害とストレスについて、

精神保健福祉士が期待されている役割について知ってみよう」

講師 直嶋 美恵子

こころの病気とはどのようなものか、また災害時のストレスや問題とは何かをその人たちがおかれている現状や課題を知った上で、精神保健福祉士がどのような役割や支援を期待されたり実践しているのかを紹介します。

社会保育学科

3号館 1F 模擬保育室

「“困った子”はいない？— 見方が変わると、子どもはもっとおもしろい —」

准教授 郡司 竜平

「落ち着きがない」「空気が読めない」と言われる子どもの行動には必ず理由があります。簡単な体験や実際の教育・保育現場の事例を通して、子どもの“困った行動”の見え方が変わる考え方について学びます。子ども一人ひとりの違いを理解する、保育・教育の面白さに触れてみましょう。

お知らせ

○休憩所として1号館2F 121 教室、1号館2F 学生ラウンジをご利用ください。

○13時00分以降、1号館2F 121 教室に相談スペースを設けています。

本学教職員が、様々な質問にお答えします。ご質問がある方は、ぜひお立ち寄りください。

○JR 名寄駅行きのバスは、15:10 から運行します。1号館前から出発します。

○お帰りの際はアンケートにご協力をお願いします。回収ボックスは1号館玄関ホールにあります。

みなさんをお願い（オープンキャンパスでの写真等の撮影について）

本学ではオープンキャンパスの記録を目的に、写真・動画の撮影を行っています。ご参加の皆さま個人が特定されないよう配慮したうえで、広報媒体素材として使用させていただくことがあります。ご了承ください。

名寄市立大学 各種 SNS 配信しています

○名寄市立大学に関わる様々な情報や入試情報、オープンキャンパス、進学情報などを公開していきます。



こちらの二次元コードより各種SNSのページに進むことができます。